

大自在

大型の海鳥アホウドリは昔、羽毛を取るため毎年、大量に捕獲された。その後、絶滅したと信じられたが、わずかに生息していた。今、懸命の保護活動で復活を遂げた。翼を広げれば2・5メートルにもなる。美しい姿が見られるのは奇跡的と言っているかもしれない▼復活といえは、以前、「絶滅」種に指定されていた日本固有のサケ科の淡水魚「クニマス」が約70年ぶりに発見されたというニュースを思い出す。秋田県の田沢湖だけに生息していたが、電源開発に伴い、強酸性の水が流れこんで絶滅したとされていた▼それが山梨県の西湖で生息が確認された。絶滅前の田沢湖でクニマスの卵が西湖などで放流された記録があるといい、それが繁殖したらしい。「2度と滅ぼすことがないように」。発見に一役買った「さかなクン」のコメントが印象に残る▼そして再びワクワクするような発見である。長崎県の対馬でカワウソが見つかった。38年前高知県で目撃されて以来、確認されず、2012年、環境省が「絶滅種」に指定したニホンカワウソか、別の種か分からないと思うのだが、野生のカワウソが見つかったこと自体、驚きだ▼映像で見ると、栄養状態は良さそうだ。以前ならどこでも見つかった生き物にまで絶滅の危機が迫る野生生物受難の時代によくぞ生きていた。そんな思いもある▼ニホンカワウソはかつて全国各地に生息していたが、毛皮目的の乱獲や河川の汚染などで激減し、絶滅したとされた。洋上をゆったりと飛翔するアホウドリのような復活物語に結びつけば素晴らしい。

2017.8.18

2017年8月18日 朝刊

①最近、長崎県の対馬で発見された動物の名前を書きましょう。

[ ]

②日本で絶滅しかけた動物の名前2つと、数が激減した理由を書きましょう。

動物名① [ ]

↓  
激減した理由 [ ]

動物名② [ ]

↓  
激減した理由 [ ]

③自然を守るために、あなたにできることを書きましょう。

[ ]

年 組 名前